

○施策評価

施策名		達成状況	今後の方向性
水道 下水道	6) 地球温暖化対策を推進するまちの実現（環境負荷の低減）	A	持続

評価理由

達成状況	水道事業では、令和10年からの大阪広域水道企業団からの新分岐運用開始に向けて管路の整備を進め、配水場内では小水力発電設備の運用により環境負荷低減に貢献しました。 下水道事業では、水再生センターにおける省エネ機器による運転や、運転管理方法の工夫による電力や薬品の使用量削減を推進しました。 これらの取組により、環境負荷低減に貢献したため、達成状況を「A」としました。
今後の方向性	新たな経営戦略においても、エネルギー使用量の削減や再生可能エネルギーの利用を推進し、カーボンニュートラルへ貢献することから、今後の方向性を「持続」としました。 今後、「堺環境戦略」や「堺市地球温暖化対策実行計画」の目標であるカーボンハーフ（2030年度目標）とカーボンニュートラル（2050年度目標）の方向性を踏まえ、取組を推進します。

○事業実績

水道 ① 受水圧を利用した送水システムの整備		a				
目標	<ul style="list-style-type: none"> 受水圧の利用による電力量の削減と安定給水を目的として、大阪広域水道企業団からの新分岐との接続に向け、協議を進めます。 周辺自治体との施設の共同利用によって、既存の老朽化施設の廃止に向けた協議・検討を行うことで、電力量等の削減による環境負荷の低減を進めます。 					
実績	<ul style="list-style-type: none"> 大阪広域水道企業団からの新分岐（美原区太井）との接続については、令和10年度からの運用開始に向けて、管路の整備や施工スケジュール調整、分岐部の実測水圧の確認を行いました。 既存の老朽化施設の廃止に向けた周辺自治体との施設の共同利用の検討については、新たな案を追加して検討した結果、給水区域の再編による老朽化施設の廃止を進めることとしました。 					
決算額 ※()内は上段のうち繰越額 [単位：千円]						
年度	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源など	
R4	0	0	0	0	0	
R3	196,142	0	0	0	196,142	

水道 ② 小水力発電設備の設置		-				
目標	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの有効利用を目的とした桃山台配水場と陶器配水場内の小水力発電設備を運用し、環境負荷の低減に貢献します。さらに、水道施設を有効活用した脱炭素化を推進するため、小水力発電設備等を新たに設置できるよう関係部署や民間企業と検討を進めます。 					
実績	<ul style="list-style-type: none"> 桃山台配水場と陶器配水場内の小水力発電設備を運用することで、年間約140万kWhの発電を行い、環境負荷の低減及び収入の確保に貢献しました。また、さらなる脱炭素化推進のため、複数の民間企業とPPAなどの導入可能性について検討を実施しました。 					

指標評価	R3年度実績	R4年度実績	R4年度目標値	達成状況	備考	望ましい方向
小水力発電量（万kwh）	121	140	140	○		↑
	当年度に発電した電力量					